

事務事業チェックシート

事務事業No 327 事業名 食品の安全推進事業(食品監視)

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	1	衛生管理等の促進と監視の強化

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	食品衛生監視指導計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻村 光司 (488-5111)	
関連課	衛生研究所		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		食品衛生費	
	大事業		食品衛生事業	
事項		食品の安全推進事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
事業概要	食品の安全性を確保するため、公衆衛生の見地から必要な規制、その他の措置を講ずることにより飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって国民の健康の保護を図ることを目的とする。 ○食品の取去検査 食品衛生法に基づき食品関係営業施設に食品衛生監視員が立ち入り、試験検査をするために必要な食品を無償で提供を受けること。 ○食品営業許可 関係営業施設への監視・指導 施設及び届出施設等の衛生状況等の確認のため、食品衛生監視員がその施設に立ち入りを行うこと。 ○食品衛生講習会への参加 食品衛生協会や食品関係業者が実施する講習会に講師として参加する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	食品の取去等検体数： 861検体 (不良・不適数：69件) 食品関係営業施設への立入検査： 3,204件 食品衛生講習会： 49回、1,788人	食品の取去等検体数： 886検体 (不良・不適数：75件) 食品関係営業施設への立入検査： 2,724件 食品衛生講習会： 56回、2,180人			

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	2,520	2,387	2,550	2,433	2,424		2,424		2,424	
伸び率(%)	-	-	1.2%		-4.9%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	57,583	36,914	36,914	39,606	39,606		39,570		39,570
	非常勤職員	1,005	3,004	3,004	2,324	2,324		2,324		2,324
	小計	58,592	39,918	39,918	41,930	41,930		41,930		41,930
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	19,929	18,877	21,042	20,450	21,379		21,379		21,379	
一般財源(税等)	-17,409	-16,490	-18,492	-18,017	-18,955		-18,955		-18,955	
所要人数	常勤職員	7.76	4.94	4.94	5.30	5.30		5.3		5.3
	非常勤職員	0.48	1.68	1.68	1.37	1.37		1.37		1.37
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	食品の取去等検体数	年度目標値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		実績値		861	886			
	単位	全体目標値	全体目標達成度					
	年度別達成度							
成果指標	食品の取去検査等の不適・不良率	年度目標値		8	8	8	8	8
		実績値		8	8.5			
	単位	%	全体目標値	全体目標達成度				
	年度別達成度							
単位	件	全体目標値	全体目標達成度	1,500				
年度別達成度								

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民の食品の安全性に対する関心が高かまっているため
「見直し」 「改善」案	